

〜NHK教育テレビのごども番組〜
「ニャンちゅうワールド放送局」でお手玉を紹介

NHK教育テレビの子ども向け番組「ニャンちゅうワールド放送局」で、お手玉遊びが取り上げられました。

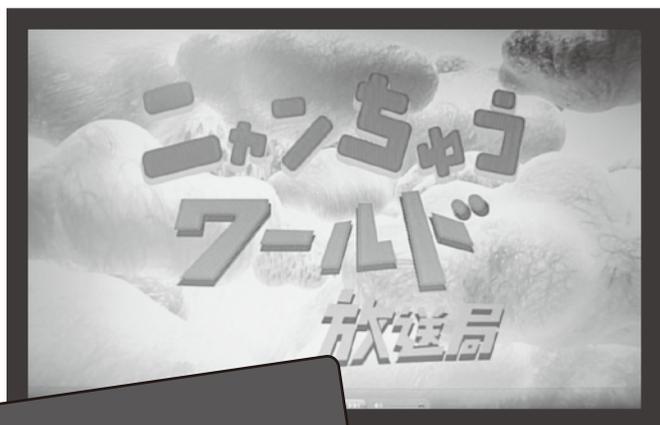
この番組は、ワールド放送局の局長「ニャンちゅう」が、世界のごどもたちのくらしや文化の違いなどを紹介するものです。ことしのテーマは『世界のごどもたちと友だちになろう！』です。

5月12日の放送では、『ミッシヨニャンポツシブ』として、『フランスで使われているこの『玉』は、何に使われるものだろう？』と、フランス料理店のシェフを訪ねるといふ設定でした。シェフは、「これは羊の骨で、お手玉遊びに使うものです」と答えて、羊の骨5個を使った寄席玉遊びを教えてくださいました。さらに、「お手玉遊びは、世界中にあつて、どこの国でも同じような遊び方をしています」と解説した後、画面に世界地図が表示されました。そして、「オーストラリアでは3色のビニールで包んだボールが、ミヤンマーでは竹で編んだカゴのようなもの、パキスタンでは固

くて大きくて平らな豆”を使って遊びます」と、実物を示して紹介しました。

テレビで紹介されたお手玉は、日本のお手玉の会がお貸ししたものです。番組の担当者から「日本のお手玉の会のご協力をいただいたからできた企画でした」と、お礼の連絡をいただきました。

**NHK教育テレビ
 ニャンちゅう
 ワールド**



■ フランスの料理人がお手玉遊びを説明



■ フランスのお手玉 (羊の骨) オスレ



■ お手玉の遊びはどの国にもしている



■ 骨のお手玉をあやつる場面

「寄席玉遊び」を上手に紹介

この番組では、羊の骨のお手玉を使って遊ぶフランスの「寄席玉遊び」『オスレ』を上手に紹介していました。親玉の羊の骨のお手玉を、細い棒の先にくっつけて、上げ下げします。その間に、右手で下のお手玉の先を親玉を右手で上に上げます。上から親玉が降り、棒の先の親玉と人差し指の間に挟みます。上から親玉が降り、棒の先を右手でとって、上に上げ、下のお手玉を次の指の間に挟みます。それを繰り返すという方法です。

写真はNHKテレビで画面を撮影したものです。